

## 炎天下 早生の稲刈りがスタート

よく見ると稲穂に白い点「稲の花」



9月初旬から早生品種の稲の刈り取りが始まりました。8月下旬の台風もあまり影響がなかったため、刈り取りには良いコンディションでした。

今回の刈り取りには2台のコンバインが運行しました。稲の倒伏も少なく、圃場も乾燥しているため、例年になく効率よく作業が行なわれ、3日目のお昼ごろには、殆ど作業が終わっています。

20日には、一番面積の多い「日本晴れ」品種の圃場の水が落とされました。これからおよそ2週間程度で稲刈りとなります。

刈り取りの終わった圃場には稲の株が残っています。刈り取りから3週間、ところどころの稲株から新たな葉が伸びています。そして中にはその葉の中から稲穂が顔を出しています。

「二番穂」とか「ひこばえ」などと呼ばれます。僅か20日間に成長するのですね。残念ながら本場に実るものではないとのことですが。



真夏のような日差しの中で稲刈りが始まった(9月5日)  
暑さと刈り取りの際に出る微細ゴミ、オペレーターの下にある、エンジン冷却用の空気の取入口には、微細ゴミがべったりと張り付いています。これらを取り除かないと、オーバーヒートを起こしたり、故障の原因となります。

### 社会奉仕の日 ハッポウクラブ



作業が終わって参加者全員で記念写真

9月16日は「敬老の日」ですが、全国の老人クラブでは翌日の9月17日を「老人クラブ社会奉仕の日」として全国的な清掃活動等の奉仕作業を行います。  
「ハッポウクラブ」では16日に、市道の清掃を行なわれました。20名の参加がありました。20名の参加がありましたが、炎天下の長い距離の市道清掃は厳しいものでした。



交通安全に注意が必要

### 水路除草 9月の共同作業



刈り取り前の稲穂を見ながら畦畔の除草

9月は水路法面などの除草清掃共同作業の月間です。当会では第1日曜日を基準日として皆様方にご参加をお願いしています。  
今年の9月前半は真夏のままでした、みなさんご苦勞様でした。

# 秋の例祭 中郷八幡宮の神輿



今回はご神体が載る神輿だけで祭礼、実際には3台ある

中郷八幡宮の秋の例祭が9月21日午後2時から行なわれました。この例祭のために前の週の日曜日には地域の多くの方々が除草清掃に参加されました。当地区からは4・5・6班の方々にお願いしました。

当日はあいにくの小雨が降り出し、神輿を外に出すことを諦めました。

総代の中のベテランのお話では「わしが若いころは、この神輿を神社から繰り出して上郷地域を練り歩いた」とのことです。

今ではとても考えられないことですが、やってみたいですね。

## 百花繚乱 咲き乱れるコスモス

リサイクル集積所の南側に広がる畑、原田信義さんと正江さんご夫婦がほとんど毎日のようにお世話されている畑です。

今この畑の南側はお花畑になっています。橙色のコスモスがびっしり。「植えたんじゃないのよ、勝手に育っているのよ。」毎年の花が種を落としてこうなっているということです。

それにしてもその花の見事さは驚くばかりです。どの花も精一杯咲いています。この世のものとは思えないような花園です。



殆どがコスモス、多くの人が写真撮影をしていく

## 市道を塞いだ大枝を急遽除去



大きな枝だったので小さく切って通行の確保

9月21日から22日の朝にかけて強い風雨がありました。能登半島では激しい雨で甚大な被害が出てしまった気象状況と一連のものでした。

何事もなかったような朝でしたが、市道八方原森下線では、道路傍の立木の枝が折れて落下、市道を塞いでしまっていました。

朝の巡回で事態に気が付いた杉山自治会長は、チェーンソーを引っ提げて現場に急行、あつという間に枝を処理しました。

## 緊急連絡網のお願いです

先月来小紙でお伝えしていますが、自治会の会員に緊急な連絡ができるように連絡網を作ることになっています。

今現在ライングループの登録者は23名です。メールの登録者は10名です。

先日は緊急の連絡を実施できました。方法は二つです。一つは携帯電話の

メールを使用する方法、もう一つはSNSのラインを使用するものです。

既に20名以上の会員の方が登録を済ませられています、まだまだ十分ではありません。今回は登録の仕方について、少し具体的に説明します。

まずメールアドレスを登録したいと



送信してください。

ラインで参加される方はラインのホーム画面の右上にある「友だち+」をタップします。するとQRコードを使用する画面になります。

そこから、それで下側のQRコードを読み込めばOKです。

